

にらドリーム70運動

～ゆめみどりを増やして、夢ある経営～

資材価格の高騰や気候変動による収量の減少、そぐり機の開発などにらの取り巻く情勢が大きく変化している中、本県にらを持続的に発展させていくため、生産者、関係団体、行政が一体となった運動を令和6年10月から開始しました。

【目指す姿】

にら産出額： 51億円（R4）⇒ 70億円（R9）

対策1 単収向上

- ICT及びウォーターカーテンを活用した1年1作を実証・導入支援を行います
- そぐり機の導入の支援を行います

ほか

対策2 生産面積の拡大

- 加工・業務用にらの作付拡大の支援を行います

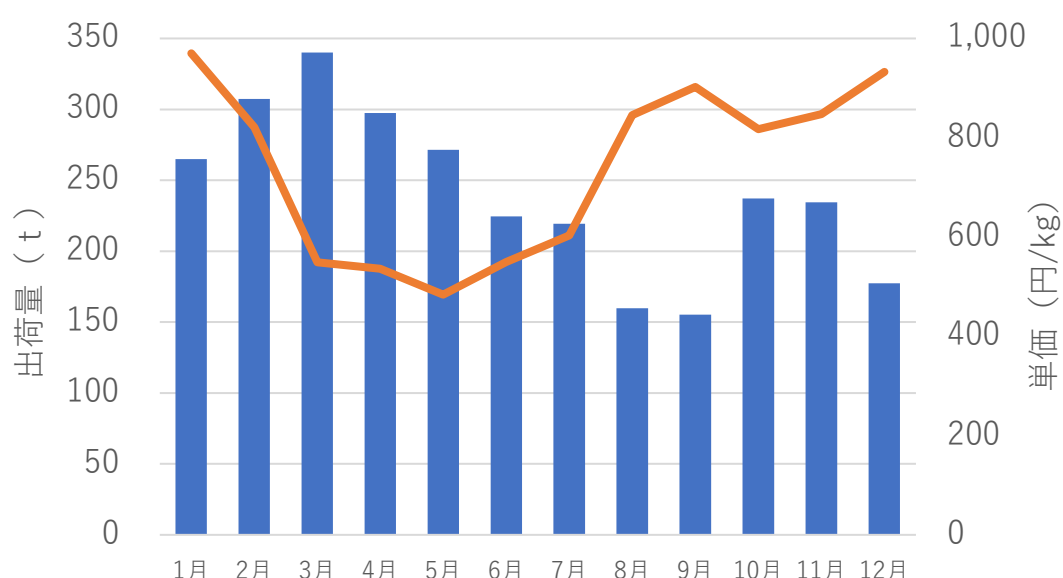
ほか

対策3 販売単価の向上

- 首都圏における「にら＝栃木」のイメージ定着に向けたPRを実施します

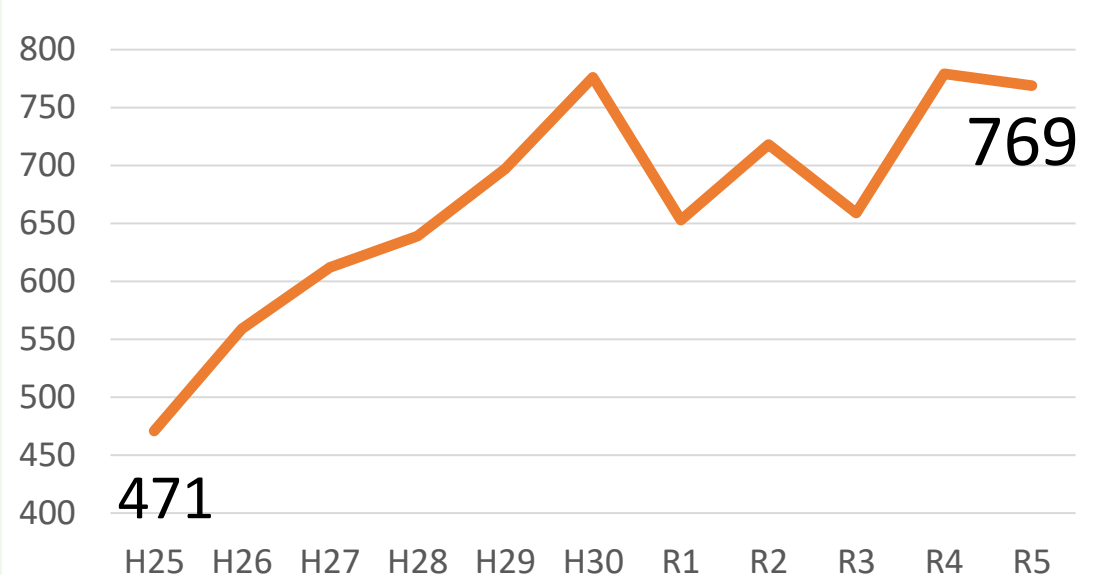
ほか

栃木県産にらの出荷量及び単価（5ヶ年平均）



単価が高い8～12月に本県産にらの出荷が少ない

本県産にらの販売単価（円/kg）



本県産にらの単価は年々上昇している

本資料の問い合わせは農業振興事務所または栃木県生産振興課いちご野菜担当（連絡先：028-623-2328）まで